

令和7年第6回  
周防大島町教育委員会会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時  
令和7年8月28日（木） 14時00分～14時06分
- 2 場 所  
大島庁舎2階 庁議室
- 3 出席委員  
星野教育長、國行委員、柏谷委員、大沼委員、清木委員
- 4 事務局出席者  
中原教育次長、中村総務課長、坂井学校教育課長、小泉社会教育課長、廣田総務班長
- 5 欠席者  
な し
- 6 傍聴者  
な し
- 7 調整者書記  
廣田総務班長
- 8 議事録署名委員の決定  
柏谷委員及び清木委員
- 9 議題及び議事の大要、質問または討論をした者の職及び要旨
  - (1) 議案第1号 中学校統合に関する方針案について  
説明者：総務課長  
質疑・意見等  
(委 員) 前回の統合に際してアンケートがあったが、今回のアンケート結果との何か大きな違いがあったかという質疑。  
(事務局) 前回も、やはり反対意見が、大島中学校区については多かった。その結果が2校になった。今回2月に取ったアンケートについても、周防大島中学校と大島中学校の統合ということで、周防大島中学校の現状への不安というような保護者の方の意見は多かった旨説明。  
(委 員) 前回の統合のときの附則の中に「連続して1学年20名を下回る見込みとなる令和10年」とあり、これが今回の連続ではなく、「全部の学年で20名を下回る」というふうに変わっている。前回を踏まえると、令和12年ぐらいにそれに該当するが、変わったところを教えてほしいという質疑。  
(事務局) 確かにその基準では、令和12年が該当することになる。ですが、生徒の総数が現在の66名より70名になる見込みということは、現在よりも連続して20名は下回るが、総数的には70名ということで、

現在を上回る見込みとなる。生徒の総数についてもこれからは考慮していく必要があると考え、明らかに生徒総数が減っていく令和15年までは若干、今は66名から58名、その次、令和16年が明らかに44人と、現在よりも22名減る見込みとなっている。基準は平成28年当時とは変わってしまうが、その生徒総数の減少傾向並びに1学年の生徒数を考え、令和16年が3学年全て20名を下回り、さらに大幅に生徒が減っていく。その年に延期するという結論になった旨説明。

(委員) 令和13年も64名だが、現在よりも生徒数が減っている。がくっと減るのが16年だが、もうその年に決定するのであればそれでいいが、その前くらいから今回みたいに事前準備という形で、またアンケートを取るなり、説明をするなり、何かアクションを起こすほうがいいのではないかという意見。

(事務局) この附帯事項にもあるが、今回と同様、「社会情勢の変化や保護者・地域の声に十分配慮しながら」ということを附帯事項として付与している。今回と同様、アンケートがいいのか、保護者会とかがいいのか、その辺は、また近くなつたときに考えるべきだが、この生徒の数の推計を見ると、もう限界ではないかと。あくまでも20名ぐらいが、1学年が最低の人数ではなかろうか。そういったことも考えると、もう16年には、ほぼ統合するという方向を主にして考えていかなければいけないのではないかと考えている旨説明。

(委員) 今の附帯事項に関して、先のことは全く分からぬが、仮に大島地区のほうにこれから移住者とか増えて、生徒見込数が増えた場合、明らかに1学年20人を超えるのが分かつたら、変更の可能性はあるのかという質疑。

(事務局) 変更の可能性はあると思う。ぜひともそうなつてほしい旨説明。

教育長 議案第1号について承認いただけますか。

委員 承認。

## 10 議決事項

議案番号	内 容	議決結果	議決日
議案第1号	中学校統合に関する方針案について	承認	令和7年8月28日

(教育長) 以上で、教育委員会会議を閉会します。